

「ヒトリンパ系の解剖研究」へご協力をお願い

—平成28年5月24日～平成34年3月31日の間に岡山大学において献体をされたご遺族の方へ—

研究機関名 岡山大学医歯薬学総合研究科

研究機関長 谷本光音

研究責任者 岡山大学医歯薬学総合研究科 人体構成学 助教 品岡玲

研究分担者 岡山大学医歯薬学総合研究科 人体構成学 教授 大塚愛二

岡山大学医歯薬学総合研究科 形成再建外科 教授 木股敬裕

岡山大学病院 形成外科 助教 山田潔

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

ヒトのリンパは癌やむくみに関わる重要な臓器です。しかし、今までの方法では解剖することが難しく、よくわかっていませんでした。しかし技術の発達し、解剖をする前にリンパ管を目で見えるようにする方法ができてきました。この方法をご遺体に用いリンパ系の解剖の詳細を明らかにします。

尚、この研究に参加されましても、通常の系統解剖が行われます。参加による不利益はございません。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

リンパに関わる、癌の転移やリンパ浮腫などの研究が促進されます。さらにリンパに関わる新たな病気が見いだされる可能性があります。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

平成28年5月24日～平成34年3月31日の間に岡山大学において献体された方500名を研究対象とします。

2) 研究期間

平成28年5月24日～平成34年3月31日

3) 研究方法

平成28年5月24日～平成32年3月31日の間に岡山大学において献体された方500名を、研究者が解剖を行い、リンパ管の解剖を明らかにします。

4) 使用する試料

御遺体の試料を一部用いますが、ご遺体の個人情報は削除し、匿名化して、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、献体時のアンケートから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、ご遺体の個人情報は削除し、匿名化して、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心

の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、手術歴、既往歴

6) 試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した試料・情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学人体構成学で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した試料・情報を用いて新たな研究を行う際は、人体構成学のホームページおよび掲示板にポスターを掲示してお知らせします。

7) 研究計画書および個人情報の開示

この研究における個人情報の開示は、故人が生前希望される場合にご遺族にのみ行います。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究はご遺体のデータを個人情報がわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、献体者の試料・情報が研究に使用されることについて、ご遺族がご了承いただけない場合には研究対象としないので、献体者の死後30日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合は献体者の方々に不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学大学院 人体構成学

氏名：品岡 玲

電話：086-235-7091（平日：8時30分～17時15分）

ファックス：086-235-7094